

F★★★★★
ホルムアルデヒド放散等級



ALES
DYNAMIC
MUKI

MILD

超耐候性超低汚染弱溶剤2液形ハルスハイリッチ無機有機ハイブリッド塗料

アレスダイナミックMUKIマイルド

無機・有機ハイブリッドテクノロジーとラジカル制御技術が常識を覆す

関西ペイントの「無機」と「有機」のハイブリッドテクノロジーとラジカル制御技術により従来の最高位グレード「フッ素樹脂塗料」を超越。「アレスダイナミックMUKIマイルド」は超長期耐久性と多彩な機能によりお客様の大切な住まいを過酷な環境から長期間護ります。

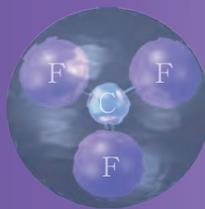
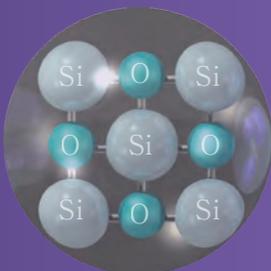


「無機」と「有機」ハイブリッド技術

「無機」の強靭さと「有機」の柔軟性、そしてフッ素樹脂の素材の保護機能を高効率で配合させることで優れた耐候性を発揮。

無機の優位性

太陽光(紫外線)や酸性雨など長年浴び続けても簡単に崩れない耐久性を持つ。



最高グレードのフッ素樹脂

加工がしやすく柔軟性がありコーティングした素材を強力に保護する。

ラジカル抑制技術

4つの塗膜コントロール技術で、塗膜劣化の原因物質である「ラジカル」の発生を根本的に抑え塗料の耐候性を飛躍的に向上。

動画でチェック



高性能レジン

超強力な結合エネルギーを持つ国産「高性能無機レジン、フッ素レジン」で紫外線劣化を阻止



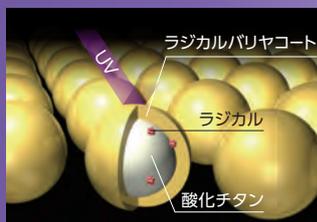
UVトラップ

「高性能レジン」をすり抜けた紫外線を「UVトラップ」で無害化



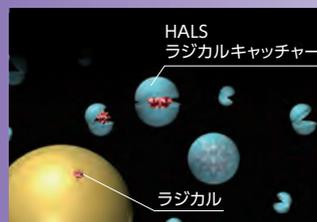
ラジカルバリアコート

酸化チタンへの紫外線到達を阻止しラジカル発生を抑制



HALSラジカルキャッチャー

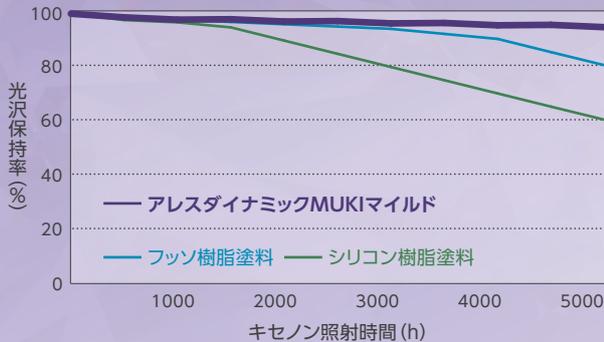
極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲して無害化



安心の超高耐候性とさまざまな機能

超高耐候性

■ 促進耐候性試験



超低汚染

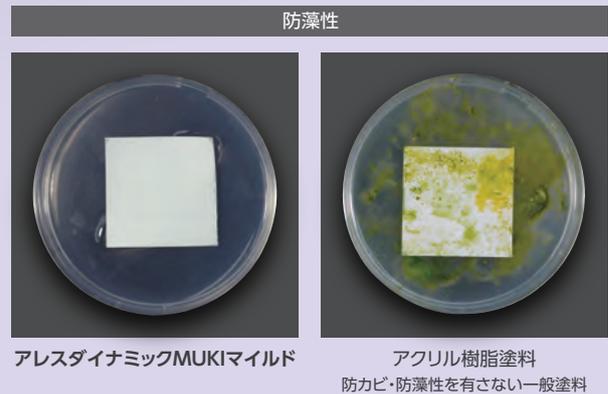
親水性の塗膜を形成することで、付着した汚れを雨水が流し落とします。雨だれ等を低減し建物の美観を維持します。

■ 屋外バクロ試験結果 (6ヶ月バクロ 当社比)



防カビ・防藻性

湿度の高い建物の北側などで発生しやすい、カビや藻の発生を抑制し、建物の美観を維持します。



弾性下地にも対応

固い特性をもつ無機を、弾性下地にも追従する柔軟性を持たせ、ひび割れに強い塗膜を形成します。(※艶有りのみ対応)

良好な仕上がり

抜群の塗りやすさに加え、仕上り性(トマリ、肉持ち感)に優れています。

周辺環境への配慮

塗料用シンナーで希釈可能であり、臭気が少なく作業環境にもやさしい塗料です。

幅広い素材(旧塗膜)適性

素材	適性下塗
コンクリート	アレスダイナミックフィラー アレスダイナミック防水フィラー アレスダイナミックプラサフII アレスダイナミックシーラーマイルド
モルタル	アレスダイナミックシーラーアクア アレスダイナミックプライマー アレスホルダーHG
窯業系サイディング	アレスダイナミックフィラー アレスダイナミック防水フィラー アレスダイナミックプラサフII アレスダイナミックシーラーマイルド※ アレスダイナミックシーラーアクア マルチタイルコンクリートプライマーEPO ※難付着サイディングへの適正あり
金属サイディング	アレスダイナミックプライマー アレスダイナミック1液プライマー スーパーザウルスII
鉄	アレスダイナミックプライマー アレスダイナミック1液プライマー ザウルスEXII、スーパーザウルスII
亜鉛メッキ	アレスダイナミックプライマー アレスダイナミック1液プライマー スーパーザウルスII
アルミニウム	
木部	アレスダイナミックプライマー アレスダイナミック1液プライマー



KP-111



KP-110



KP-112



KP-223



KP-310



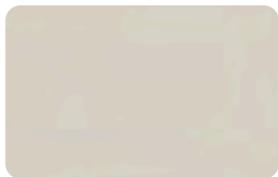
KP-121



KP-133



KP-221



KP-120



KP-127



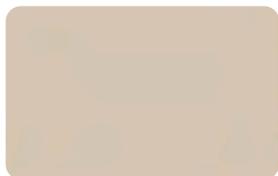
KP-131



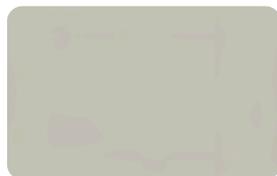
KP-80



KP-337



KP-336



KP-141



KP-247



KP-330



KP-147



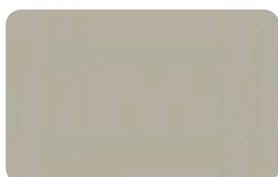
KP-350



KP-75



KP-347



KP-150



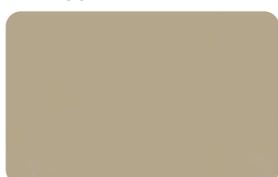
KP-352



KP-70



KP-356



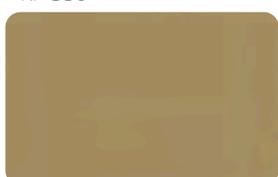
KP-357



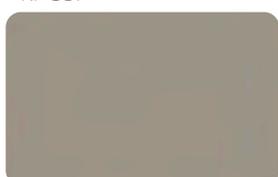
KP-368 ◎



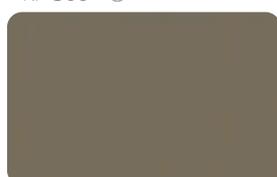
KP-50



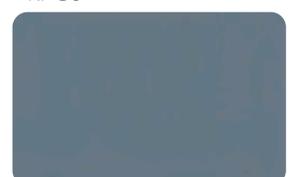
KP-367



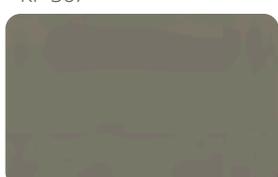
KP-167



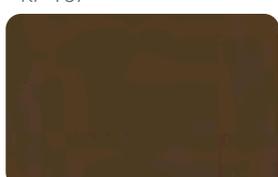
KP-376



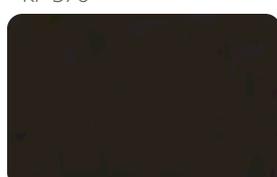
KP-379 ◎



KP-170



KP-385 ◎



KP-185 ◎

この色見本は、印刷のため実際の仕上りと多少異なります。
◎印は、濃彩色のため材料費が割高になります。
※見本帳の有効期限は2026年10月です。

上 塗

アレスダイナミックMUKIマイルド

[15kgセット]ベース:12.9kg,硬化剤:2.1kg(ベース:硬化剤=6:1)

[3.5kgセット]ベース:3.0kg,硬化剤:0.5kg(ベース:硬化剤=6:1)

つや:艶有り,7分つや,5分つや,3分つや



下 塗

アレスダイナミック防水フィラー(16kg)

【湿潤面用】

アレスダイナミック共通強化剤 0.08kg×1



中 塗

アレスダイナミックMUKIマイルド中塗

[16kgセット]ベース:14.5kg,硬化剤:1.5kg(ベース:硬化剤=10:1)

[4kgセット]ベース:3.6kg,硬化剤:0.4kg(ベース:硬化剤=10:1)

アレスダイナミックMUKIマイルド 標準塗装仕様

■一般外壁仕様【適用下地】コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード・ALC・各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。					
下 塗	アレスダイナミック防水フィラー** 上水	主 材:16kg	多孔質ローラー(細目) 多孔質ローラー(標準目)	0.50~1.50	1~5	乾燥面:8時間以上7日以内 湿潤面:16時間以上7日以内
中 塗	アレスダイナミックMUKIマイルド中塗 塗料用シンナーA	ベース:14.5kg 硬化剤:1.5kg	ハケ・ローラー	0.12~0.14	5~15	4時間以上7日以内
上 塗	アレスダイナミックMUKIマイルド 塗料用シンナーA	ベース:12.9kg 硬化剤:2.1kg	ハケ・ローラー	0.12~0.14	0~10	—

*標準所要量は被塗物の素材・形状・塗装方法などにより増減することがあります。

**艶ありの場合、中塗~上塗の代わりに上塗~上塗での塗り重ねも可能です。

※艶調整品の場合、下塗の「アレスダイナミック防水フィラー」はご使用できません。その場合の下塗には、「アレスダイナミックフィラー」・「アレスダイナミックプラサフ」等をご使用ください。またその場合は、中塗~上塗での塗り重ねで施工してください。

※「アレスダイナミック防水フィラー」で強化剤を使用する場合【混合比】ベース:硬化剤=16kg:0.08kg(100:0.5)【乾燥時間】湿潤面:16時間以上7日以内

湿潤面塗装時の希釈は、水分の巻き込みを考慮し、1~3%程度少なく調整してください。また、乾燥時間は乾燥面に比べ2~3倍程度速くなります。

※高断熱型窯業系サイディングボードを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のフクレが生じることがあります。「アレスダイナミック防水フィラー」を塗装する場合は、厚塗り塗装は避けてください。

■金属面仕様【適用下地】鉄部・亜鉛メッキ・アルミ・ステンレス・ガルバリウム鋼板・金属サイディング・各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃する。素地露出部は下塗を用いて補修塗りを行う。					
下 塗	アレスダイナミックプライマー 塗料用シンナーA	ベース:14.4kg 硬化剤:1.6kg	ハケ・ローラー エアレス	0.13~0.15 0.16~0.18	0~10	4時間以上7日以内
中 塗	アレスダイナミックMUKIマイルド中塗 塗料用シンナーA	ベース:14.5kg 硬化剤:1.5kg	ハケ・ローラー	0.12~0.14	5~15	4時間以上7日以内
上 塗	アレスダイナミックMUKIマイルド 塗料用シンナーA	ベース:12.9kg 硬化剤:2.1kg	ハケ・ローラー	0.12~0.14	0~10	—

*標準所要量は被塗物の素材・形状・塗装方法などにより増減することがあります。

**艶ありの場合、中塗~上塗の代わりに上塗~上塗での塗り重ねも可能です。

《施工上の注意事項》

- 塗装仕様に記載の塗り重ね乾燥時間は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗り重ね乾燥時間が長くなる場合がありますので、ご注意ください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けてください。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
- 黄・赤・青・緑系の冴えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるために中塗を共色で塗装してから仕上げることをお奨めします。
- 希釈には必ず「塗料用シンナーA」をご使用ください。その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解等が発生することがあります。また、ラッカー系旧塗膜面を塗り替える場合、チヂミが発生することがありますので、事前に確認してください。
- 本品を溶剤適性の無い旧塗膜に塗装した場合、膨れや縮れなどの塗膜欠陥を起こす可能性がありますので、試験施工するなどして事前に確認してください。
- ベースと硬化剤を規定の割合で混合後「塗料用シンナーA」を加えて充分攪拌し、適切な粘度に調整してから塗装してください。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけでなく、流れやすくなるため、仕上り不良の原因ともなりますので、ご注意ください。流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施してください。
- 被塗面に油、ワックス、汚れ等が付着している場合は、必ずシンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装してください。
- 艶有り仕上げの場合、上記各仕様書の中塗を「アレスダイナミックMUKIマイルド」に置き換えても差し支えありませんが、その場合の塗り重ね乾燥時間は4時間以上7日以内(23℃)となります。
- 艶調整品については、高温などの乾燥が早い環境下ではツヤムラが生じることがあります。
- 艶調整(5分つや・3分つや)仕上げの場合、塗装方法の変動、塗分量のバラツキ等により、ツヤムラが生じる場合がありますので、ご注意ください。
- 異なる色を塗り重ねる場合も、ニジミ防止のため、塗り重ね乾燥時間を1日以上確保してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- ベース、硬化剤は湿気の影響を受けやすいので、必ず密閉して冷暗所に保管して下さい。又、ベースと硬化剤を混合したものは、8時間以内(23℃)に使い切ってください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装してください。
- 濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くこすると、色落ちや艶変化が起こる場合があります。
- シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、フレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし「シーブラ」又は「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をパインダーとして挟むことで不具合を軽減することがあります。
- スチールドアなどで、ゴムパッキングと接触する部分は、粘着することがありますので、塗装は避けてください。
- 蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)等で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップ等の場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れる場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去する等の入念な下地処理を行ってください。

《ご使用上の注意事項》

- 下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。【予防策】
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 【対 応】
- 目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時は、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 【保 管】
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 【廃 棄】
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 【施工後の安全】
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工員に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てであることを表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



MADE IN JAPAN

関西ペイント販売株式会社

 関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(23年10月03期PNA) カタログNo.875
頒布価格 1,500円(税込)